

令和4年度文化祭本部映像班引継ぎ資料

1. この資料について

(1) 概要

この資料は文化祭本部映像班の引継ぎのために書かれた資料です。体育館での対面形式での開閉会式の実施、彩西祭公式 HP の制作など今年度初めて行った企画や前年度以前の資料が残っていない業務が多いので永久保存をお勧めします。執筆は映像班副班長 2422 林春輝が行いました。

(2) 目次

1. この資料について

2. 体育館でのイベントの運営について

2 - 1. 体育館設営について

2 - 2. 開会式

2 - 3. 中等部吹奏楽部発表

2 - 4. 中夜祭

2 - 5. 中等部コラコン

2 - 6. 部活動発表

2 - 7. 閉会式

2 - 8. 放送室の設営について

3. 各種制作動画について

3 - 1. カウントダウンムービー

3 - 2. オープニングムービー

3 - 3. 部展紹介ムービー

3 - 4. 部展紹介ムービー（提出）

3 - 5. クラス展紹介ムービー

3 - 6. クラス展紹介ムービー（提出）

3 - 7. エンディングムービー

3 - 8. スタッフロール

4. 購入物品とその目的について

5. 彩西祭 HP、混見システムについて

5 - 1. 彩西祭 HP

5 - 2. 混見システム

6. その他制作物など
7. 断念した企画について
 - 7 - 1. 写真共有システム
 - 7 - 2. 展示体験
 - 7 - 3. ライブ配信
8. 事後アンケートより
9. 来年への展望、副班長雑感
10. 図表など

(3) この資料内での略称の説明

この資料内では重複した説明を避けるため、以下のシステムを略称で呼んでいる。

【葛飾システム】

一昨年の生徒交流会から学校行事などでも運用されているシステム。正式には HDMI LAN エクステンダといい HDMI 信号を TCP/IP に変換して LAN ケーブルで伝送している。品番は beEX150m-Split。仕様では LAN ケーブルは cat5e/6(cat6 推奨) を使用し、最大 150m まで延ばすことができるとあるが、別に cat5 以下のケーブルでも問題なく作動する。過去に壱号送信機が 3 回壊れている。説明書は【H.264_HDMI_IP_Extender setup guide】。弐〜伍号送受信機は昨年度の文化祭で運用する際マルチキャストの設定をしたものである。ので、設定を変更すれば壱号機として使える。

【上位葛飾】

2016 年度に購入したものだと思う。AGPTEK の HDMI LAN エクステンダで TCP/IP に変換しないものである。1080p で cat6 以上の LAN ケーブルで最大 60m まで伝送できる。TCP/IP に変換しないため葛飾システムと比較してフレームレートが高く、遅延も少ないため上位と呼んでいる。こちらは cat6 以上でないと伝送できないため注意。

2. 体育館でのイベントの運営について

(1) 対面形式での開催について

3 年ぶりの体育館で対面形式の開催となった。3 年前同様、ステージ班が音響・照明を LAPLAND さんに、拡張ステージの設営を大興産業さんをお願いした。設営の際のスケジュールは【2022 年文化祭準備及び当日の日程と注意事項 (案)】の通り。

(2) 全体のタイムスケジュール

放送自体のタイムスケジュールはパンフレット記載【図：パンフレット記載日程】の通り。運営側のタイムスケジュールは【資料：映像班シフト】を想定していた。しかし当日カメラ・マイク転換時に想定よりも人手が必要となったので、シフトに入っている人以外に 2 人程

常駐してもらうことにした。

(3) 中継について

開閉会式・中等部コーラスコンクールを中等部教室で中継してほしいという要望を中等部の先生からいただいたため、葛飾システムで中継した。またプロジェクターに備え付けのスピーカーで音を再生する場合音割れがひどく、音楽などは実用に耐えうる範囲での再生が不可能であったため、音声は校内備え付けの放送システムを利用した。詳細は【2 - 8】。

(4) 感染症対策について

換気をしつつ、プロジェクターで映像が投影できる程度の暗さを確保するため体育館南側の通路に遮光シートを設置した。当日は雲もなくかなり屋外は明るかったが、遮光シートのプロジェクターが投影できる程度の暗さは確保できていた。詳細はステージ班の引き継ぎ資料を参照。

2 - 1. 体育館設営について

(1) カメラについて

中継の際に単調な画にしないため、Cam1～Cam4の合計4台のカメラを運用した。Cam1との接続にはHDMI15m、Cam2との接続には上位葛飾、Cam3との接続にはワイヤレスエクステンダを、Cam4(iPhone 13 Pro)との接続には川井先生に第一PC教室からお借りしたApple TV(おそらく第3世代)を利用した。一眼レフの場合はHDMIパススルーの際にカメラのプレビュー表示が消える機種があるためピントや明るさを調整する際には毎回HDMIケーブルを抜いて対応した。【R04 彩西祭体育館システム図等】やはりCam1はビデオカメラなので一番使いやすかった。Cam3も一眼レフの為、明るさ・ピントを合わせるのが困難だった。Cam4は主に開閉会式などの入場・退場の際に利用した。AppleTVと離れるとコマ落ちすることが増えたが想定範囲内だったのでそのまま利用した。

【Cam1 Sony Ax700】

私物のSony Ax700を今年度購入したHDMI15mで接続した。ホワイトバランスが調整しやすく、昨年度散見された白飛びを回避できた。また明転した際にもMFに設定することでピンボケを防いだ。私物のビデオ三脚に設置し、常時撮影隊員が操作した。

【Cam2 Canon kiss x10i】

班員の私物のCanon kiss x10i(たまにx10)を上位葛飾(LAN30m)で接続した。この際LAN30mは今年度購入したケーブルプロテクターで保護した。画角がCam1と同じになってしまう上、明るさを合わせるのが難しくあまり活用できなかった。

【Cam3 Canon kiss x10】

班員の私物の Canon kiss x10(たまに x10i)を今年度購入したワイヤレスエクステンダで接続した。受信機・送信機共に三脚でできるだけ高い位置に設置したがブロックノイズが入ることが稀にあった。また仕方のないことだが1秒未満の遅延があった。照明の所為か明るさと色を合わせられなかった。x10 は HDMI パススルー時にディスプレイが消えるためピントを合わせるのも難しかった。また中等部コーラスコンクールで PTA が依頼している DVD の業者も同じような位置にカメラを置きたかったらしく、前日準備日に交渉をし設置位置を調整した。

【Cam4 iPhone13pro】

班員の私物の iPhone13pro を Apple TV (第3世代) で接続した。この際に iPhone のおやすみモードなどを使い通知が写りこまないようにすること、アクセスガイドを有効にし画面下部のバーを非表示にすること。iPhone には FullScreenCamera という名の通り全面にカメラ映像が映るアプリをインストールしてもらった。注意点としては初回起動の際に必ず落ちたりズームが難しかったりする。ただ単に画面のミラーリングなのでカメラの性能というよりも画面の解像度と Apple TV の性能のほうが重要。教室に設置してある Apple TV HD(4世代)を借用できればベスト。~~(教室のものを無断で借りることもできるが Apple TV を HR 展で利用する HR が多くパターったのがばれそうだったので)~~きちんと文化祭顧問を通して正式に Apple TV を借用しようとしたが、教室の Apple TV は固定されているため貸せない。その代わりに第1PCの Apple TV は外せるので貸せるということで川井先生の好意で一週間前から第1PCの Apple TV を貸していただいた。ワイヤレス伝送についてはリハを重ねたほうが良いのでとても助かった。主に入退場時に利用したのであまり色合わせの問題はなく手軽に使えた。

(2) ビデオスイッチャーについて

カメラの数が4台に増えたことで昨年度までのようにカメラとパソコンをキャプチャーボード & EOS Utility で接続して対応することができなくなった。そこで今年度は ATEM Mini Pro を購入し最大4台までカメラを接続できるようになった。またビデオスイッチャーを使用したことで Nikon の一眼レフとの相性問題も解決した。ATEM mini pro は HDCP のかかった映像信号は入力できない仕様となっているが Cam3 に使用したワイヤレスエクステンダは HDCP に対応していたため、スプリッターを間に挟んで無理やり HDCP をキャンセルした。その他、ATEM mini pro に USB で接続している配信 PC に ATEM Software Control というソフトをインストールし、スティルなどの設定を行った。

(3) 映像・音源再生について

OPM などの映像再生担当と OBS 操作担当を分けることによって操作ミスを防ごうとし

た。そのため映像再生用のラップトップ（私物）を OBS 用 PC とは別に用意し、再生映像は HDMI からキャプチャーボードを通して OBS 用 PC と接続、音声については 3.5mm からフォーン端子に変換しミキサーにつなげた。音源はフェードがかけられるという利点から VUPlayer で再生したが使い勝手が悪かった。映像は Windows10 標準の映画＆テレビで再生した。

（４） OBS での操作について

学校備品の Raytrek r5-ca を OBS 用 PC として運用した。尚 Raytrek r5-ca はどの課の備品かよくわからなかったため生徒会のものになったらしい。OBS では LUT で cam1～cam4 の色味の調整と ATEM mini pro と映像再生用 PC に繋いだキャプチャーボードのソースの切り替えを行った。この LUT は個々のカメラには設定できない（ビデオスイッチャーからのソースに LUT をかけているため）ためまずは個々のカメラの設定をするべきである。また映像再生をする際に映像再生用 PC のみはスイッチャーの入力数が足りなかったため、別にキャプチャーボードで取り込んだ。キャプチャーボードとスイッチャーの切り替えが OBS 担当の主な役割だった。トラックパッドでの切り替えはミスの原因となるため Stream deck などがあると良い。

（５） プロジェクターについて

生徒課・体育課・進路課のプロジェクターを借用した。生徒課と進路課のものに関しては課長に相談して借り、体育課のものは平日準備日に勝手に借りたため借用書は書いていない。体育課に関しては机なども借りていたが特に借用書は書いていなかった。しかし、時間があるのであれば借用書を書くべきである。プロジェクター北に体育課、真ん中に生徒課、南に進路課のものを配置した。また進路課からは 20m 程度 VGA ケーブルも借りることができた。VGA⇄HDMI 変換があるのであれば（今年は私物だった）とても役に立つ。

（６） 音声について

今年度は LAPLAND さんに入ってもらったので昨年度のように複雑な操作は必要なかった。映像班としての業務は葛飾配信に載せるための音をオフマイクでとることと、映像再生用 PC の音を LAPLAND さんに送ること、あと LAPLAND さんから司会や楽器のマ音をももらうことだけだった。オフマイクには今年度購入した AT2035 を二つ使い、それぞれミキサの ch1 と ch2 に入れた。LAPLAND さんに送る音は aux2 から出して途中でフォーンを XLR に変換して渡した。詳細は【R04 彩西祭体育館システム図等】を参照。ミキサー(mw12)は広報委員会から借用した。mw12 はボタンの接触不良があったり aux1 に不具合があったりとするので新調したい。

2 - 2. 開会式

(1) 企画概要

文化祭一日目の 9:00 -10:00 に実施した。高校生は体育館で対面形式で参加、中等部生は葛飾システムを利用して各教室で視聴した。開会式では体育館にはパイプ椅子を設置せず、床に座ってもらった。また、ペンライトなどの持ち込みを許可した。

(2) 開催の経緯

職員会議で新型コロナウイルスが国レベル1の場合は下の扉を開放して対面での体育館イベント実施が可能という判断になった。またその際、人と人の間の距離を十分に確保するため、中等部生は教室にて葛飾視聴ということになった。

(3) プロジェクターについて

北、中央、南のプロジェクター3台を全て使った。OPA や校長挨拶、実長挨拶の際は中央のプロジェクターを映像班員にダンボール片などで隠してもらって対応した。

2 - 3. 中等部吹奏楽部発表

(1) 企画概要

中等部吹奏楽部が文化祭一日目の 10:30 -11:10 に実施した。中等部生のみが体育館で参加した。中等部生は全員体育館に居たため配信は行わなかった。

(2) プロジェクターについて

中等部吹奏楽部がステージを使用したため、3台のプロジェクターのうち中央のものは電源を切り、ステージ側に寄せた。

2 - 4. 中夜祭

(1) 企画概要

文化祭一日目の 15:00 -16:30 に対面形式で実施した。市松模様にパイプ椅子を設置し、人と人との距離を確保した。また、ペンライトなどの持ち込みを許可した。

(2) カメラについて

Cam4 を舞台横に設置し、観客の反応が写せる画角を確保した。

(3) プロジェクターについて

プロジェクターを使わない団体については中央のプロジェクターを映像班員にダンボール片などで隠してもらって対応した。

2 - 5. 中等部コラコン

(1) 企画概要

文化祭二日目の 9:00 -11:00 に学年ごとに対面形式で実施した。学年別の実施のため葛飾で中等部教室に配信した。

(2) カメラについて

Cam1、Cam2 を取り外し、Ax700 を cam2 の位置に、kiss x10i を舞台袖に設置した。Kiss x10 はピアノ伴奏者が写る画角に調整した。好評だったが、ステージの端に三脚を設置し、生テープで固定しただけなのでもう少し安定する固定方法が必要。

(3) プロジェクターについて

3 台のプロジェクターのうち中央のものは電源を切り、ステージ側に寄せた。

2 - 6. 部活動発表

(1) 企画概要

文化祭二日目に 11:30～12:05 弦楽部、12:30～13:05 吹奏楽部、13:30～14:00 演劇部というスケジュールで実施した。対面形式で実施し、中等部教室には葛飾システムで配信した。

(2) 開催の経緯

例年弦楽部・吹奏楽部が中庭で発表していたが、感染症対策として3部活とも体育館で実施した。

(3) プロジェクターについて

3 台のプロジェクターのうち中央のものは電源を切り、映像班ブースに移動した。

(4) (弦楽部) カメラ配置について

Cam4 を取り外し、cam4 の位置に ax700 を設置した。また cam1 には kiss x10 を設置した。

2 - 7. 閉会式

(1) 企画概要

文化祭二日目の 15:30 -16:15 に実施した。高校生は体育館で対面形式で参加、中等部生は葛飾システムを利用して各教室で視聴した。閉会式では体育館にはパイプ椅子を設置せず、床に座ってもらった。また、ペンライトなどの持ち込みを許可した。

(2) 開催の経緯

職員会議で新型コロナウイルスが国レベル1の場合は下の扉を開放して対面での体育館

イベント実施が可能という判断になった。またその際、人と人の間の距離を十分に確保するため、中等部生は教室にて葛飾視聴ということになった。

(3) プロジェクターについて

北、中央、南のプロジェクター3台を全て使った。校長挨拶、実長挨拶の際は中央のプロジェクターを映像班員にダンボール片などで隠してもらって対応した。

2 - 8. 放送室の設営について

(1) 概要

葛飾視聴の際に音質の向上を図るため各教室備え付けのプロジェクターからではなく校内放送のスピーカーから再生した。

(2) システム設計について

放送室後方のブースのLANポートから、放送ブースまでLANケーブルを延長

↓

葛飾受信機で映像を受け取り、イヤホン端子のあるディスプレイで再生

↓

ディスプレイを校内 PA システムのライン入力に接続、校内へ放送

(3) 人員配置について

配信監視も兼ねて各イベント時には1人放送室で保守を行ってもらった。

3. 各種制作動画について

3 - 1. カウントダウンムービー

(1) 概要

OPM 前に再生。文化祭の始まりまで生徒たちがカウントしていく。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：全体で3分弱 実写パートが2分半ちょい アニメーションが10秒程度

制作人数：協力者含めて5人

制作期間：3週間くらい

使用ソフト：aviutl ◀アニメーションパート

power director ◀実写パート(トラッキング)

(3) 素材準備、撮影について

各クラスを順番に回って撮った。形式は各クラスに配布した書類の通り。

校舎外周の素材は、空が暗くなく、人通りが少ない時に撮った。

下見→コース決定→トラッキングするオブジェクトに十分な時間(4 秒くらい)注目しつつ撮影 という感じ

(3) 制作者所感、展望

いろいろな人の助けを借りてできた動画だから作りがいがあった。一部制作を担当してくれた工学班有志には感謝しかない。今作のコンセプトというか作る上で意識したのは絵面を変化させることだったので、校舎外周、アニメーションパートの一部制作依頼をした。水谷からの提案だったが、作る人を変えるというのはめちゃいい案だと思った。

3 - 2. オープニングムービー

(1) 概要

開会式で再生。スライドショー形式で準備時の様子を放映する動画。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：OPM 単体 2分 10 秒

カウントダウン連結後 4分 39 秒

制作人数：1 人

制作期間：6 か月(1 月からちまちまと暇なときに進めたので実労は 50 時間もない)

基本的な構想が 1 月の時点で決まっていて、しばらく寝かせた後に修正
直前一週間で使用画像の RAW 現像と挿入、調整を行った

使用ソフト：動画作成:Adobe After Effects

一部素材、デザイン作成(ラスト):Figma、ペイント

一部素材、デザイン作成(ベクタ):Adobe Illustrator

ノイズ素材作成:Aviutl

画像素材作成:手軽に透明 png

Raw 現像、画像色調整:Luminar(体験版)

音源編集:Reaper

画像リサイズ:Xnconvert

動画再エンコード:Xmedia Record

（３）素材準備、撮影について

・背景素材、フレームなど

フィルムやフレーム素材はフリー素材を使用。必要に応じて一部改変した。最後のチケット画像や一部のフレームは Figma で一から作成した。

・写真

画像は笑顔を優先し、入念に選定した。全ての写真を顔写真とした。使用する画像全ての色を調整した。色が沈みがちな蛍光灯屋内の写真がどうしても多くなるので、トーンを上げ、また色味も暖くなるように調整した。効率化のために LUT を使用し、それをベースに調整した。体感だいぶ印象が変わる。一部の画像はレンズ補正をかけた。

・動画

半日準備日に大久保君に撮影してもらった動画を使用した。色補正を行い、再生速度を下げて使用した。

・楽曲

短時間で情報量の多い動画を作りたいかったので、音源を短くして対応した。Reaper で編集。

（４）制作者所感、展望

・テンプレートの使用について

せっかく AE を使うので、一部無料テンプレートを使用した。自分で一から作るよりも確実に品質が担保されると感じた。編集時間も減らせるので。

・ポストエフェクトについて

シーン全体に①AE 機能で LUT 当てる②ノイズ素材を 3 パターン当てる③レターボックスと歌詞の処理を行った。動画作成後のカラコレは大事だと思った。この作業を省くと質感がない動画になったり、画面が暗い動画になったりすると思う。

・構想時に意識したことについて

会場の盛り上がりと一本の動画としての統一感を念頭に置いて作成した。「MOVIE」にちなみ、フィルム素材を多用する想定を持っていた。また、歌詞と演出を連動させる構想も初めからあった。

・作成時に意識したことについて

メインの情報は写真なので、激しい動きや早すぎる展開を避けた。ビビッドに近い系統の色を使ったが、写真の邪魔をしないように場面ごとの調和を意識した。適度に音ハメをして、見ていて気持ちの良い動画になることを心掛けた。フィルムやライトリークの生っぽい質感も意識した。

・歌詞表示について

情報量を増やす目的で表示した。メインの情報は写真なので視認可能ぎりぎりの色差に留めた。

・動画作成における Figma の使用について

AE はある程度大きなサイズの画像を読み込めるため、横スクロールのシーンを Figma で画像として作成し、横に動かした。この手法はスタッフロールでも応用ができる気がした。

・カウントダウンとの接続について

直前にデータをもらったので、自然な接続を意識して応急処置的にくっつけた。カウントダウン部はもらったデータから再生速度を変更し、展開を合わせた。

・時間の使い方について

今年は年中バタバタしていたので、動画の作成そのものに充てられる時間が少なかった。その分隙間時間に Youtube や Pinterest 等でのインプットを増やすようにした。(500 本/2800 ピンほど)インプットの量を増やせば特定の作品のパクリになることは(意図がない限り)起りづらいので、アウトプットだけでなくインプットの量も意識するといいと思った。パンフレットや諸々のデザイン業務にも取り組んだことで、静画における構成力はより確かになったと思う。

3 - 3. 部展紹介ムービー

(1) 概要

開会式で再生。各部展のタイトルと概要の紹介。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：30 秒

制作人数：2 人

制作期間：1 週間程度

使用ソフト：aviutl

(3) 素材準備、撮影について

画像は全てフリー素材。音声はフリーBGM を mp3 に変換し使用。テキストは約半分はパンフレットから、もう半分は自分たちで考えた。全てフリー素材だと味気ないので、囲碁将棋部さんから頂いたり、実際に撮りに行けばよかったと感じています。

(4) 制作者所感、展望

動画編集については、二人で相談しつつ進め、初めてでしたが、心強かったです。素材と情報不足であったため、その収集、質問等が更にできれば良かったと思いました。今後、新入班員がする際はその収集を念押ししたいです。

3 - 4. 部展紹介ムービー（提出）

(1) 概要

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

(3) 素材準備、撮影について

撮影とかはたぶん事前にしてるところ多かったんだろうけど提出が全体的に遅い。

(4) 制作者所感、展望

・提出早くして

3 - 5. クラス展紹介ムービー

(1) 概要

開会式で再生。各クラス展のタイトルと概要の紹介。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：6分14秒

制作人数：3人＋自主制作してくれた方々

制作期間：企画約2ヶ月、制作半月

使用ソフト：After Effects、Premiere Pro、Photoshop、Blender

(3) 素材準備、撮影について

まずはクラスとクラスの間に入れるトランジションを作った。プリセットだけを作って、あとでクラス展の題名とキャッチコピーを入れるだけしておく。そして「クラス展紹介ムービーに関する提出用紙」の提出を待ち、そこに書いてある題名などを作っておいたトランジションに入力する。自主制作するクラスからデータの入ったUSBを取りに行く。自主制作しないクラスを3人で分担して作り始める。最後にすべてをPremiereで編集して完成。

(4) 制作者所感、展望

○何か新しいことがしたいなと思い、今年のテーマも考え各クラスの間にカチンコで、題名とキャッチコピーを表示した。カチンコは、テクスチャをphotoshopで作り、ブレンダーでレンダリング、それをaftereffectsで合成した。地味に毎回背景に合わせて色を調整したりしてる。

○結局、早め早めに初めてもう気ざりざりになってしまった。

○BGMを毎シーン変えたので合計で30曲ぐらい使った。

3 - 6. クラス展紹介ムービー（提出）

(1) 概要

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：30秒

制作人数：2人

制作期間：1週間程度

使用ソフト：aviutl

(3) 素材準備、撮影について

撮影とかはたぶん事前にしてるとこ多かったんだろうけど提出が全体的に遅い。

(4) 制作者所感、展望

・提出早くして

3 - 7. エンディングムービー

(1) 概要

閉会式で再生。スライドショー形式で当日の様子を放映する動画。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：約5分

制作人数：1人

制作期間：曲選び・構想に約2ヶ月、制作に約2ヶ月

使用ソフト：Adobe After Effects、Photoshop、Lightroom Classic

(3) 素材準備、撮影について

素材準備：外部素材はライトリークと映像フィルムのフリー画像のみ使用して、そのほかは自分で作ったり実際に撮影した写真を背景素材として使ったりした。また、写真を切り抜いて使用したい場面があったため、そのための写真素材は意識的に集めた。

撮影：前日準備までは主に撮影隊の皆さんに頑張ってもらった。当日は、設営のシフトがなかった自分が動画編集をしながら、撮影に回っていた。放課後に他の撮影隊の皆さんの写真を一旦自分のパソコンに落として使用した。(この時一人分落とし忘れてしまったことに気づいて少し焦ったがどうにか枚数は足りた)あと、中等部生から高校生まであまり偏りなく写真があってよかった。例年高校生の写真がどうしても多くなってしまうため、今年のEDMは中等部生の写真も入れることを意識した。(それでもやはり知り合いや高校生の写真を無意識に多くしてしまうのは反省点だ)

(4) 制作者所感、展望

・初めてAEを使用して動画制作をした。AviUtlと違って重くなりにくいのがとてもよかった。

・文化祭 1 日目の夜が大変だった。自分のパソコンの性能を過信してはいけなと強く思った(とりあえず、プレビューとエンコードにとてつもない時間がかかった)エンコードが終わって布団に入ったのは朝の4時。少しでも寝るのが大切。

・曲選びについては、五つくらい候補を出して自分以外の人の意見も聞きながら選んだ。曲を一人で選ぶのはお勧めしない。絶対に独りよがりになる。自分の趣味を交えるのも大事だが、やはり見ている人がノリやすく、万人受けが良さそうな曲調がいい。他人から指摘を受けることで気づくこともある。

・世界観をイメージして制作に臨むと動画って作りやすいと思う。例えば今年のテーマはムービー。一人一人が主役、というのを動画で表現することを少し意識した(見ればわかると思うけど、ラスサビでフィルムが浮いていた場面とか)

3 - 8. スタッフロール

(1) 概要

閉会式で再生。本部役員と実行委員の紹介。

(2) 動画の長さ、作成人数、作成期間、使用ソフト

長さ：約4分

制作人数：2人

制作期間：2週間

使用ソフト：Aviutl

(3) 素材準備、撮影について

素材準備は文化祭 2 週間前ぐらいからひたすら撮影。撮影に関しては撮影担当と撮影場所や動画構図などを話し合いながら実施。

(4) 制作者所感、展望

創造力などはあまり必要とされず行き詰まるということではなかったが、文化祭直前まで素材がすべて集まらないので、毎日少しずつでも動画を作り進めないといけないため、自分のペースで製作できず少し苦痛だった。また文字入れなどでは再生速度や文字化けなどに対する対応などが思っていた以上に厄介でそこらの調節を手伝ってくれた人がいてくれて本当に助かった。

本部役員と教員に踊ってもらったため、(主に教員側の)スケジュール調整が大変だった。特に中間テスト期間は職員室に入れなくなるのでスケジュール調整ができず、結果的にテスト後の仕事量が増えてしまった。

4. 購入物品とその目的について

(1) 購入の経緯について

当初文化祭本部では160万円を予算案として提出していたが、5月上旬に生徒会会計担当の職員から①本部及び各班の予備費は利用できない。②予算は120万程度までしか使えないという旨を伝えられた。(これはそれまで言われてきたこととは食い違う内容だった)それに伴って、文化祭予算で購入した物品はその年の文化祭の為にだけに利用するのが筋だという話をされた。そこで映像班で購入する予定だった機材の一部(以下に示す)を学校の予算として購入する案を提示された。正直実際にどのような経緯で予算が使えなくなったのかは生徒会会計担当職員の説明がころころ変わるため把握しきれていない。

(2) 購入物品一覧

【資料:映像班予算希望書】を参照

(3) 各品目の説明

コンデンサマイク×2/AT2035

体育館イベント中継時のオフマイクとして購入。

ビデオスイッチャー/ATEM Mini Pro

カメラからの映像のスイッチングに使用。HDCPがかかった信号は映らない。

HDMI ワイヤレスエクステンダ/400-VGA012

Cam3と接続。無線での長距離伝送の為。音声は伝送できない。

カメラスタビライザー/DJI OM 4 SE

Cam4/可動カメラに使用。

HP用サーバー/Xserver スタンダードプラン三か月

彩西祭公式ホームページ・混見システム用。

ケーブルプロテクター

体育館イベントの際にケーブルを保護するため。

HDMI ケーブル 15m×2

Cam1との接続・プロジェクター北との接続のため。HDMIの規格を超えているためケーブルがかなり硬く、極性がある。

5. 彩西祭 HP、混見システム、アーカイブ公開について

5 - 1. 彩西祭 HP

(1) 概要

文化祭本部で公式 HP を制作・運営し、文化祭の情報を発信する。またホストするサーバとしては Xserver を購入した。

(2) 目的

新型コロナウイルス感染症対策のため来校できない外部の方（受験生など）に対して広報するため。

(3) サーバ公開までの流れ

オンライン広報についての話し合い（11月）

班長会内でオンライン広報の目的、必要性、手段、ターゲットについて話し合った。手段として Twitter, Instagram 等の SNS も案に上がったが①学校として発信する内容のため毎回起案をする必要があるため、SNS の強みであるリアルタイムな情報更新を期待することができない②本部で公式に作成したアカウントとその他のアカウントを見分ける手段がない。等の理由からホームページ上での広報を行うことに決定した。これらの内容をまとめ【資料；オンライン広報について（起案書）】 前年度の文化祭顧問に提出した。

ホームページ制作(デザイン&プログラム)（12月～3月）

映像・ポスパン班長が Figma 上でデザインし、私が html, css に書き起こした。ホームページを制作する上でモバイルデータ通信でも軽く閲覧できることを目指して JavaScript のライブラリの利用は可能な限り控えた。

職員会議での承認（4月）

4月初めの職員会議で彩西祭公式 HP の承認が降りた。

起案（4月～）

サーバが購入した際にすぐに公開できるように第一回起案内容を回した。

Xserver 購入（5月）

サーバは生徒総会後予算が動かせるようになってからすぐに支出調書を回していただいた。しかしゴールデンウィークが間にあった影響で実際に公開できたのは5月中旬になってしまった。

(4) 制作について

VSCode でプログラム、Github でバージョン管理をし、Github Pages でプロトタイプを共有した。(起案に載せたプレビュー用 URL にも使いまわした)。VSCode⇔Github の連携をしたため、Github Pages を随時更新し、デザイン担当からフィードバックをもらった。また記事については総務班広報に執筆してもらい、添付写真については映像班撮影隊が撮影した写真を用いた。

全ページ共通設定

- ・ Google Analytics タグ
- ・ Google Font - Hind、Noto Sans JP などの読み込み
- ・ jQuery - ハンバーガーメニューのアニメーション用
- ・ メタディスクリプション - 「2022 年度浜松西高等学校・同中等部文化祭「彩西祭」公式ウェブサイトへようこそ。当日の情報から準備の様子まで、様々なことを発信していきます。」

記事ページ設定

- ・ Javascript load 関数 - 新着投稿読み込みの為
- ・ Slick - 記事に添付する画像のスライダライブラリ。

トップページ

- ・ Swiper - 画像のスライダライブラリ。Slick よりも操作性に優れていたため。
- ・ Javascript load 関数 - 新着投稿読み込みの為

(5) 運用について

Xserver 上でホストした。ドメインは <https://sai3.site> に設定した。本来は Xserver の特典としてドメインが無料で取得できるのだが前述の通りサーバの購入がずれ込んでしまい、パンフレット等に記載する URL を確定させる必要があったので自費で購入した(本当は自費はだめ。ただ99円だったのでこっそり)。案内状・パンフレット・ポスターなどの印刷があるのでサーバ購入・ドメイン確定は早めに終わらせるべき。

(6) 起案について

4月から6月にかけて6回起案した。詳細は【資料:彩西祭公式 HP 更新資料】を参照。起案の際には更新資料を紙で印刷したものと、記事ページに添付する画像と、起案するページのプレビュー用 URL を入れた USB を提出した。

	提出日	更新内容	備考
第 1 回 更新	4/14	index.html about.html pamphlet.html	内容がすでに確定しているページについてはサーバ購入前から起案を回して購入時にすぐに公開でき

		articles.html map.html timetable.html 404.html article_1.html article_2.html article_3.html article_4.html article_6.html article_7.html	るようにするべき。
第 2 回 更新	5/21	themeillust.html article_8.html article_9.html article_10.html article_11.html pamphlet.html index.html articles.html	
第 3 回 更新	5/24	article_12.html article_13.html article_14.html article_15.html articles.html index.html	
第 4 回 更新	5/26	article_16.html article_17.html article_18.html articles.html map.html tenji.html	
第 5 回 更新	5/30	article_19.html articles.html	
第 6 回 更新	6/16	article_20.html article_21.html article_22.html article_23.html	

		article_24.html article_25.html article_26.html article_28.html articles.html	
--	--	---	--

(7) 更新について

この企画を出した段階では職員が更新作業を行う、となっていたが、結局職員の前で生徒が更新するようなかたちとなってしまった。

(8) その他

過去には広報班が存在し HP での広報を行っていたらしいが、どのような経緯で広報班が消滅したのかはわからなかった。現段階で確認ができたのは 2017、2007。資料には起案をしたと書いてあったが鳥井先生がこそっと作っていただけだとおっしゃっていたのでおそらく今年度のような正式な起案ではないのではないかと考えられる。

5 - 2. 混見システム

(1) 概要

各 HR 展の待機人数を各 HR 担当者にリアルタイムで送信してもらい、特設ページに反映する。その後、各自のスマートフォン等で特設ページにアクセスすることで各 HR の混み具合を確認できるシステム。使用した言語は主に php と html。

(2) 目的

混雑具合を共有することで HR 展での混雑を緩和し、三密を回避するため。

(3) 制作について

映像・ポспан班長がデザインを担当し、私が VSCode でプログラム、Github でバージョン管理をし、Heroku でプロトタイプを共有した。(Github Page では php を動かさないため)

(4) 運用について

彩西祭公式 HP 用に購入した Xsever でホストした。アドレスは <https://komi.sai3.site>

5 - 3. アーカイブ公開

(1) 概要

演劇部・弦楽部・吹奏楽のステージ発表の録画を行い、彩西祭ホームページに掲載するも

の。(実際にはサーバの公開期間が終了したため学校HPでの公開に変更した) 詳細は【資料:彩西祭ホームページにおける部活発表の 映像公開について】(総務班作成)を参照。

(2) 目的

- ①文化祭に来場できない保護者や外部の方に向けて、生徒の発表を披露する場を設ける。
- ②文化祭当日の発表の様子を記録し、史料として残すことで西高の文化祭をより良いものにする。

6. その他制作物など

- (1) 文化祭本部役員募集ポスター
- (2) 彩西祭公式 HP ポスター
- (3) 混見システムポスター

7. 断念した企画について

7 - 1. 写真共有システム

(1) 概要

生徒と保護者を対象に文化祭当日映像班が撮影した写真を公開するもの。php と mysql で実装し、xserver 上で公開する予定だった。ソースコードは資料を参照。

(2) 目的

当日来場できない方が文化祭の様子を知ることができるようにするため。

(3) 断念した理由

当日の教員側の写真チェック体制が整わなかったため。

7 - 2. 展示体験

(1) 概要

当日来校できなかった方向けにHR展内の映像を録画し、彩西祭公式HP上で公開するもの。【資料：彩西祭ホームページにおける展示体験について】(総務班作成)を参照。

(2) 目的

- ①文化祭に来場できない保護者や外部の方に向けて、生徒が制作した展示を披露する場を設ける。
- ②展示の内部の様子を記録し、史料として残すことで西高の彩西祭をより良いものにする。

(3) 断念した理由

公式HPとアーカイブ公開もあるため映像の起案が教員側に多大な負荷をかけることとなるため。

7 - 3. ライブ配信

(1) 概要

昨年度と同様、当日来場できない方向けに部活動発表を YouTube 上でライブ配信するもの。【資料：彩西祭ホームページにおける部活発表のライブ配信について】(総務班作成)を参照。

(2) 目的

- ①文化祭に来場できない保護者や外部の方に向けて、生徒の発表を披露する場を設ける。
- ②文化祭当日の発表の様子を記録し、史料として残すことで西高の彩西祭をより良いものにする。

(3) 断念した理由

教員側で常時監視する必要がある、また相応しくないものが写りこんでしまう可能性があるため。

8. 事後アンケートより

実際の文章は【資料:R4 事後アンケート抜粋】を参照

以下に要点とそれを踏まえた考察(個人の感想含)を記載。

- ・ホームページの更新頻度を増やしてほしい。

今年度は事後も含め6回しか更新できていないので頻度は増やしたいと思っているが、現状では教員側の起案の回る速度が追い付いていない。特に文化祭当日はまったく起案できないと思う。既に内容が決まっているページは予め起案しておくなどの対策が考えられる。

- ・来年度以降 HP に求める要素：生徒専用ページで、文化祭の写真

断念した企画の【7 - 1. 写真共有システム】がこれにあたると思う。今年度断念した理由の一つが先生方の確認体制が追い付きそうになかったことにある。

- ・学校関連 部活の SNS アカウントを紹介してほしい。

リンクを張る⇔リンク先の内容も文化祭本部として発信したことになるので SNS アカウ
ントの内容をすべて起案しない限り無理。

- ・開閉会式・中夜祭のアーカイブを公開してほしい

生徒の顔が写ってしまうと公開できない上、すべての動画を管理職が確認する必要があるため難しい。今年度は吹奏楽部・弦楽部・演劇部のアーカイブ各5分程度を起案したが、合計15分の動画でも起案が戻ってくるまで1か月以上かかってしまった。

・混見システムを廊下などにスクリーンを用意し、周っている人や中部生も確認できるようにしてほしい

今年度も計画していたが基本的にモニターは部活動が優先的に使うべきであるため事前に確保できなかったのと、混見システムを表示する手段が確保できなかったので断念した。葛飾2号で伝送する予定だったが直前に試験をしたときおそらくリセットされていたため伝送ができなかった。来年度までに確認すべき。

・YouTube等でリアルタイムで視聴できるようにしてほしい

1月のオンライン広報の起案の段階から提案していたが以下のような理由で却下となった。①ライブ中継を監視し、万が一の場合に中継を停止させる教員を常時配置できない。②なにか問題があるものが写りこんでしまいそれを教員が見逃してしまう可能性がある。代わりに生徒のみが視聴できるようにすれば配信できる気がする。

・(中夜祭の)時間を部活と被らないようにしてほしい

大会が近い部活は放課後は部活をしたい(というかこちらで中夜祭参加を強制できない)と思うので、中夜祭を日中に移動するしかないと思う。しかしその前の時間帯にはリハや、部活動のステージ発表があるため不可能だと思う。

9. 来年への展望、副班長雑感

昨年度と重複する点もあるが再度

・教員も、本部も、部活も結局は個人の集まりであるので、団体としての総意を確実に保証させること。後になって、「それは全体としての見解ではなく……」となると厄介。一般生徒や一般教員から見たとき、1本部役員の個人的な発言でも本部全体の総意と受け取られることがある。

・報連相と言質を取ることは大事。特に教員側で勝手に事が進んでいることがあるので逐次進捗報告と現状確認を生徒間教員間で。

・今年度は予算が動かせるのが基本的には中間テスト後だったが、映像班の機材は特別に早めに購入した。教員から中間後でも良いのではないかとえられるかもしれないが機材はリハがとても重要なので絶対に早めに購入すべき。

・来年度以降、性能が良い一眼以外のカメラを確保するのが問題。予算で購入するのは難しいが検討を続けるべき。

・操作手の育成が課題。前年度の三月辺りで講習会を開いてもよいかもしれない。

・「Figma、Ae、Ai、Utl、XnConvert、Xmedia Record、OBS と適当なレタッチソフトがすべてを解決する」 by 班長

・[浜松市市民協働センター](#)に Atem Mini Pro ISO とそれを扱える人がいる。困ったら会いに行ってみる。確かその場での使用だけだった気がするが、どうしてもになったら要相談。

・カラーコピーをするときは浜松市市民協働センターへ。データを USB で運ぶ必要があるが圧倒的に安い。ほかにもフリースペースや前述の通りスタジオもある。

・写真・アーカイブ映像を引き継ぐ手段を確保したい。オンラインストレージサービスは無料のものだと容量制限があり、またサービスを突然終了することもあるため、DVD などの物理ディスクで引き継ぐのが最適だと思う。

10. 図表など



体育館設営①




体育館設営②



生徒会室備品保管場所


R04 文化祭本部映像班
令和4年8月4日



HOME CONTENTS ARTICLES ABOUT

MOVIE

2022.6.3/6.4
オンライン開催



終了しました

NEWS

お知らせ

● 重要連絡 2022.6.5

終了のお知らせ (NEW)

● 更新履歴 2022.6.5

記事が更新されました (NEW)

● 重要連絡 2022.5.28

保護者の方の来校について

THEME


テーマ

MOVIE


このテーマでは、文化祭を主役それぞれに壮大なストーリーがある映画だと捉えました。また、一人一人の活躍によって生まれる表現物も一つの映画であると考えます。これらの「映画」を観客となるお客様に感じ取ってもらえるような文化祭にしたいという理由から、このテーマが選ばれました。

CONTENTS


コンテンツ




パンフレット



展示紹介



テーマイラスト紹介




マップ


POSTS

掲載投稿


すべての記事を見る→




文化祭情報 2022.6.4
HR展・部展の結果




重要連絡 2022.6.4
終了のお知らせ



文化祭情報 2022.6.3
板下制作が完成しました



文化祭情報 2022.6.3
全校制作が完成しました



彩西祭について

校務マップ

タイムテーブル

展示紹介

浜松西高等学校 HP

静岡県立浜松西高等学校・中務部
〒432-8036 静岡県浜松市中区西伊場町3-1



発表・試合日程



体育館タイムテーブル

1日目 10:30- 11:10	中部部吹奏楽部/Magical Session 私たちの演奏で皆さんにステキな魔法をかけましょう！ キセキのようなひとときをお楽しみ下さい。
2日目 11:30- 12:05	弦楽部/そうだ、弦部聴こう 弦楽器の音色で、皆さんにリラックスできる時間をお届け します！全校投票の曲もその場で発表します。お楽しみ に！！
12:30- 13:05	吹奏楽部/Music Journey!! ジャズ、ポップス、クラシックなど様々なジャンルの曲を 演奏します！私たちが音楽を楽しむ旅に出かけましょう！
13:30- 14:00	演劇部/Mr.セブン やっと見つけた愛しの王子様♡彼のことをもっと知りた い！でも探れば探るほど彼の素顔は迷宮入り！？本当の貴 方はどれなの～泣

野球部招待試合

沼津市立高校(1957年春,1991年夏 甲子園出場)	第1試合	第2試合
対		
浜松西高校(1981年夏 甲子園出場)	9:30 開始	12:30 開始

※感染症の流行状況によってはやむを得ず中止となる場合があります。

試合・発表日程 8

パンフレット記載日程